



# 16年ぶり 四大戦男子優勝！！ 女子 準優勝 新人戦 準優勝

## 对学习院戦

## 代表戦を制す

十月十日成蹊大学体育館で開催された「第五十回 四大学秋季剣道大会」の男子団体で、我が武蔵大学剣道部が三勝して、昭和五十九年以来十六年ぶりに優勝を飾った。女子は準優勝、新人戦も準優勝の好成績を収めた。

JR中央線の遅れで、試合開始が三十分遅れ、選手の緊張もやや緩む中、男子団体戦の第一戦、対成城大学戦が始まった。初戦を制して波に乗りたいたい武蔵大は、「この一戦何としても取ろう」と一杉主将が檄を飛ばす。

先鋒一年夏見は、幸先の良い二本勝。続く次鋒小松(二年)は、粘って一本勝ち。その後四将竹内史(一年)と副将一杉(四年)が勝って、勝利を掌中に納めた。結果的には、先鋒、次鋒の活躍が効果を上げた試合だった。

続く对学习院大戦は、学习院大が既に成蹊大に勝利しているの、事実上の決勝戦となった。

先	井之上	武蔵大	▲	夏見
次	廣永	武蔵大	▲	小松
七	安藤	武蔵大	▲	谷川
六	佐藤	武蔵大	▲	古川
中	滝口	武蔵大	▲	戸賀崎
四	伊藤	武蔵大	▲	今野
三	山田	武蔵大	▲	竹内史
副	山田	武蔵大	▲	今野
大	新津	武蔵大	▲	渡邊
袋	新津	武蔵大	▲	渡邊

### 〔松森師範の談話〕

对学习院、大将戦で新津が面を一本取った後、渡邊がすかさず面を取り返したのが大きかった。もちろん引分けていれば、もっとゆっくり勝てたのですが、もう一人の功労者は、二年の小松君でしょう。三戦三勝とよく頑張りました。

主将一杉は、学习院大に勝たねば優勝はあり得ないと、四将以降を別表の様に要則オーダーを組んで臨んだ。結果は三勝三敗三分となり、取得本数も六本つづ、代表戦へともつれ込んだ。その代表戦も延長戦に突入。延長約四分、学习院大代表新津の面に、当代表一杉は胴を繰り出して、白旗三本の鮮やかな一本をさめた。

一方女子団体戦(五人制)は、帰国直後の鎌田を加え、ぎりぎりの布陣で臨んだ。学习院大に一勝三敗一分と敗退したものの、成城大に四勝一分、成蹊大に三勝一敗一分と善戦し、準優勝を勝ち取った。昨年初心者で入部した三浦は、合宿の度に地力を蓄え、この四大戦でも一勝一敗の戦績だった。小野(一年)、中出(二年)、菊地(四年)は、各々二勝を上げて準優勝に貢献した。

新人団体戦は春から秋の大会へ移行され、七人制で戦われた。対成城大四勝三敗、对学习院大五敗二分、対成蹊大三勝二敗二分と、二勝して、準優勝の成果を上げたが、学习院大戦の内容は、今後に課題を残すものとなった。

### 〔紙谷監督代理の談話〕

今日は朝から部員の気持ちが一つになっていて、「何としても優勝を」と云う気迫が感じられた。松森師範、渡辺監督のご指導の下、一杉主将以下全員で勝ち取った優勝と言える。おめでとう。

## ホームカミング協賛

## 紅白試合・記念稽古会 開催

来る十月三十日(土)武蔵大学同窓会のホームカミングデーが、開催されます。(同窓会より連絡済み)

当日大学は、白雉祭を開催中、剣道部員もうどん店「小手麵堂」を開店して、皆様をお待ちしています。ご家族でお出掛けになつては如何でしょうか。

又、六時から、江古田駅前「鳥忠」のお席を用意し、合同々期会の準備をしております。年代幹事には、連絡済みですが、既に昭和42年、45年、48年、50年、55年、57年卒業の皆様から予約を戴いております。

十一時 紅白試合  
日本剣道形 関根七段  
渡邊七段  
昇段記念稽古会  
懇親会(会費千円)  
三時 ビアパーティー(無料)  
六時 合同々期会「鳥忠」

三十日は一日中、武蔵浸け、ビール浸けでお過ごし下さい。

紅白試合、懇親会、合同々期会のお申込は、左記へ。  
武蔵大学剣友会連絡係  
TEL 〇三二三三三五八〇五  
FAX 〇三二三三五八〇八九

# 関根七段誕生！手塚氏も六段に

昭和五十年卒業の関根剛氏が七段に、昭和四十二年卒業の手塚哲男氏が六段に各々昇段されました。お二人から手記を頂戴しました。尚お二人の祝賀記念稽古会は、来る十月三十日(土)十一時から大学道場で開催致します。

平成十一年八月二十九日午後一時十分福岡市「アクシオン福岡」剣道七段実技合格発表。受審番号419D。あった！

そつとガッツポーズ。今回一緒に挑戦している、隣町のT先生は午後の審査なので、あまり派手に喜んで失礼である。それでも、早速留守宅の奥方に報告の電話、受話器の向こうで「何で私が一緒に挑戦に合格しないの」といいながら、喜んでくれた。昨年の京都での審査から七段挑戦を開始し、宇都宮、東京、京都と失敗し今回五回目の挑戦での合格。これでやっと一人前の剣士になれたと実感した。武蔵大学の剣道部を卒業するとき、関根師範が、社会人になっても剣道を続ければ何時かは七段に必ずなれるとおっしゃっていたのをふと思ひ出した。

実は、今回の審査での合格は殆ど不可能だろうと思っていた。六月二十七日の稽古で右手首を痛め、それ以降まともな稽古が出来なかったこと。お盆過ぎに稽古を復活しようとしたが、仕事が急に立て込み、八月二十二日の一日稽古が出来なかったこと。前回の京都審査から比較すると、圧倒的な稽古不足であった。当日は、今にも振り出しそうな曇り空、とにかく気合だけは負けないぞという気持ちで会場に乗り込んだ。最初の立ち会い、相手は遠路北海道の帯広より来たとのこと。静かに躊躇し、気持ちを集めさせる。相中段から練り合うこと十数秒、起こり鼻の面が炸裂、完全にこちらのペースとなる。相小手からの面、一足一刀からの面が決まり一分三十秒経過。二回目の立ち会い、広島の桑原氏、初めての受審とのこと。初太刀、面にゆくも受け流される。相手の初太刀の

面を、基本通りの返胴、しばし練り合、ここで一足一刀からの面が見事に決まり、時間となる。

この合格については、今まで稽古の場でその都度ご指導頂いた関根師範、松森師範、剣友会の諸先輩、そして今は亡き伊能先生、地元宮代剣友会の父兄、子供たち。私を取り巻く全ての方のお陰と深く感謝申し上げる次第です。

現在、しばらく竹刀をにぎっていない剣友緒兄の皆さん、剣道はストレス解消に最も効果的だと思えます。是非もう一度竹刀を持ってみませんか。稽古の後のビールは格別です。そこでこの語らいの場はこれまた最高。

昭和五十年卒 関根 剛



関根剛氏

## 永かった六段昇段

剣道を始めて、早四十年余が、過ぎました。稽古の辛さ、厳しさ。そしてその後の満足感、酒の旨さ(?)、合宿での連帯感。今、思い出しても数え切れない程です。

昭和五十六年九月に五段を取得、依頼十八年何度か六段に挑戦しましたが、望みは達せられませんでした。言い訳になりますが、又地元桶川市の体育指導員を五十三年から二十年間委嘱されていたこともあり、殆ど稽古が出来なかった事によると、自分に言い聞かせておりました。ところが、本年四月より桶川剣道連盟の会長を引き受けることになったのを機に、六段に挑戦することにしました。



手塚哲男氏

子供たちを指導するにも、自分の健康維持の為に。

昨年十一月東京、本年五月名古屋、八月仙台、挑戦三度目にして、六段昇段を勝ち取りました。二度の失敗は、理合を考えずに、いたずらに打突を繰返したと記憶しています。三度目は初一本を心掛け、我慢をして臨みました。幸い相手にも恵まれて、合格出来ました。

今年四月から週二回を目標に稽古をしています。お陰で体重も減り、血圧も正常値に近くなりました。今後、時間も許す限り、体の続く限り、子供たちと共に、稽古を続けてゆきたいと思っております。

昭和四十二年卒 手塚哲男

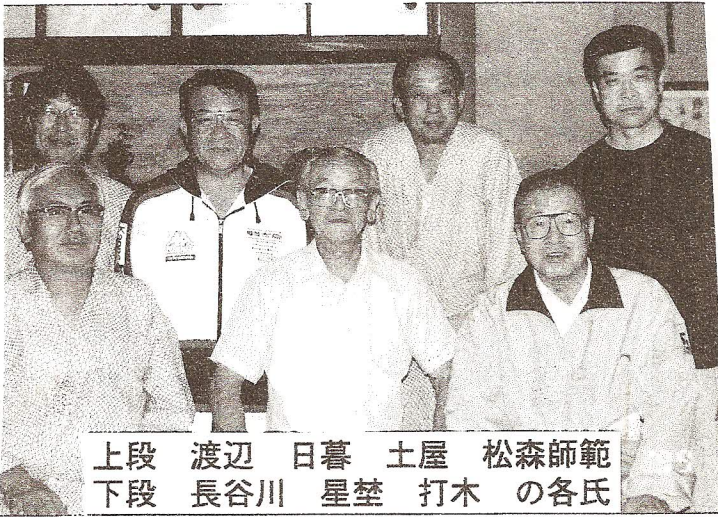
## 四大学剣友稽古会開催さる

去る五月二三日(日)成蹊大学体育館に於いて「四大学剣友稽古会」が開催されました。四大学春季剣道大会が終了した午後2時から約一時間行われました。大会で審判をお願いした警視庁の先生方も元立ちにお願いし、大会参加の全学生と卒業生の気合で、広い体育館も気温二五度の熱気に包まれました。全参加者八十名の大稽古会となり、稽古後の懇親会も、和気藹々のうちに進められました。

# 甲斐国自然館稽古会

九月二十二、二十三両日、打木先生の道場「自然館(じねんかん)」にて、稽古会を開きました。広さ二十坪の道場です。背の高さを槍が張られ、その上天井までは漆喰塗りの、明るく清々しい道場です。自宅敷地の中に建てられ、別棟に「迎賓館」と称する休憩所までが整えられた、素晴らしいマイ道場です。

参加者は、松森師範、荻生、星野両先輩、長谷川、日暮、土屋、渡辺、名取の八名です。自然館道場からは先生初め若手の弟子四名が参加しました。地稽古だけでなく一チーム三名での紅白試合も行いとても楽しい和気藹々の稽古会でした。宿泊は、勝沼宿のワイン民宿「鈴木園」で、築一〇〇年の古民家。四部屋四六畳を借りきり、食後の宴会も何の気兼ねも無く、例によって呑むこと呑むこと。終電の心配も無く、二時過ぎまで続きました。



上段 渡辺 日暮 土屋 松森師範  
下段 長谷川 星埜 打木 の各氏

# 最高の夏休み

夏合宿体験記

今年も8月28、29日の両日、静岡県沼津市内浦小学校の体育館で夏合宿が開かれました。剣道部現役諸君と合同の合宿に、関根名譽師範も、直々のご指導を戴きました。又、警視庁の西川先生、竹内先生、神奈川県警の吉統(よしつぐ)先生にもお越し戴き、いろいろなお話しを伺えた事は、現役諸君にとっても有意義な合宿となりました。西山先生(小田急建設勤務)を代表とする社会人チームの方々や地元少年剣道会の少年少女とも合同稽古をし、我が剣縁は更に大きく広がりました。大阪から初参加の小池幸夫氏より寄稿戴きました。

七月中旬、松井さんから「夏合宿の案内」をいただいた。四月から堺市の日曜会に入会し、高段者の先生方に稽古を付けて戴いていたので、即申し込む。警視庁の西川先生始め、諸先生方に稽古をお願い出来るし、長谷川先輩や岡田君、土屋君、日暮君等にも、何年かぶりで会える楽しみもあり、その日の来るのを指折り数えて待った程でした。当初の期待通り、一回づつでしたが、松森先生、吉統先生、竹内先生、西川先生に稽古をつけて戴くことが出来ました。この先生方は、剣道が強いというばかりでなく、謙虚で礼儀正しく、さすがプロだなど、感動致しました。松森先生という立派な師範にご指導戴いている学生達は、本当に幸せです。又、久しぶりの先輩、同輩、後輩の皆さんとの歓談も楽しかった。とても、びっくりし又、楽しかったのが、卒業依頼三十五年ぶりの打木先生との出会いでした。剣道もお話しも「打木節」は健在でした。ここ一兩年の内にご自宅の道場にお伺いする約束をして、富士駅でお別れをしました。

そして八十三歳と云うのに、関根先生のお元気な事。学生始め私達一人一人迄、励ましや注意、指導戴き、まだまだ指導者としての心意気は衰えては、いらっしやいませ。有り難い事です。荻生先輩もお元気そのものでお稽古でも随分多くの方々と相手にされていました。又、東京近辺在住の皆さんは毎週



土曜日に、大学で稽古をしているのと、羨ましい限りです。学生時代を思い出す剣道漬の最高の夏休みでした。現在、慢性肝炎治療中の身ですので、無理は出来ませんが、可能な限り、参加させて戴くつもりです。有り難うございました。(昭和39卒)小池 幸夫 記



日本剣道形の指導をされる 西川清紀先生 松森信秀師範

# 東都学生剣道大会脱会

武蔵大学剣道部は、東都学生剣道大会から脱会した。参加校の増加により、運営に支障が出て、大会毎の欠席校が増えたこと。設立当初の趣旨が守られないことが理由。当剣友会幹事会は、参加校を絞り、近隣の大学による新リーグを結成することを条件に、東都からの脱会を止む無しとの承諾を学生に伝えました。新リーグは、試合のみならず稽古会を定期的開催し、参加校の技量の向上と親睦を目指します。剣友会諸先輩のご支援、ご指導をお願い致します。

# 甲斐国自然館稽古会

九月二十二、二十三両日、打木先生の道場「自然館(じねんかん)」にて稽古会を開きました。広さ二十坪の道場です。背の高さ迄槍が張られ、その上天井までは漆喰塗りの、明るく清々しい道場です。自宅敷地の中に建てられ、別棟に「迎賓館」と称する休憩所までが整えられた、素晴らしいマイ道場です。

参加者は、松森師範、荻生、屋野両先輩、長谷川、日暮、土屋、渡辺、名取の八名です。自然館道場からは先生初め若手の弟子四名が参加しました。地稽古だけでなく一チーム三名での紅白試合も行いとても楽しい和気藹々の稽古会でした。宿泊は、勝沼宿のワイン民宿「鈴木園」で、築一〇〇年の古民家。四部屋四六畳を借りきり、食後の宴会も何の気兼ねも無く、例によって呑むこと呑むこと。終電の心配も無く、一時過ぎまで続きました。



上段 渡辺 日暮 土屋 松森師範  
下段 長谷川 星笠 打木 の各氏

# 最高の夏休み

夏合宿体験記

今年も8月28、29日の両日、静岡県沼津市内浦小学校の体育館で夏合宿が開かれました。剣道部現役諸君と合同の合宿に関根名譽師範も、直々のご指導を戴きました。又、警視庁の西川先生、竹内先生、神奈川県警の吉統(よしつぐ)先生にもお越し戴き、いろいろなお話しを伺えた事は、現役諸君にとつても有意義な合宿となりました。西山先生(小田急建設勤務)を代表とする社会人チームの方々や地元少年剣道会の少年少女とも合同稽古をし、我が剣縁は更に大きく広がりました。大阪から初参加の小池幸夫氏より寄稿戴きました。

七月中旬、松井さんから「夏合宿の案内」をいただいた。四月から堺市の日曜会に入会し、高段者の先生方に稽古を付けて戴いていたので、即申し込む。警視庁の西川先生始め、諸先生方に稽古をお願い出来るし、長谷川先輩や岡田君、土屋君、日暮君等にも、何年かぶりで会える楽しみもあり、その日の来るのを指折り数えて待った程でした。当初の期待通り、一回づつでしたが、松森先生、吉統先生、竹内先生、西川先生に稽古をつけて戴くことが出来ました。この先生方は、剣道が強いというばかりでなく、謙虚で礼儀正しく、さすがプロだなど、感動致しました。松森先生という立派な師範にご指導戴いている学生達は、本当に幸せです。又、久しぶりの先輩、同輩、後輩の皆さんとの歓談も楽しかった。とても、びっくりし又、楽しかったのが、卒業依頼三十五年ぶりの打木先生との出会いでした。剣道もお話しも「打木節」は、健在でした。ここ一兩年の内にご自宅の道場にお伺いする約束をして、富士駅でお別れをしました。

そして八十三歳と云うのに、関根先生のお元氣な事。学生始め私達一人一人迄、励ましや注意、指導戴き、まだまだ指導者としての心意氣は衰えては、いらっしやいませ。有り難い事です。荻生先輩もお元氣そのものでお稽古でも随分多くの方々を相手にされてました。又、東京近辺在住の皆さんは毎週

土曜日に、大学で稽古をしているのと、羨ましい限りです。学生時代を思い出す剣道漬の最高の夏休みでした。現在、慢性肝炎治療中の身ですので、無理は出来ませんが、可能な限り、参加させて戴くつもりです。有り難うございました。(昭和39卒)小池 幸夫 記



日本剣道形の指導をされる 西川清紀先生 松森信秀師範

# 東都学生剣道大会脱会

武蔵大学剣道部は、東都学生剣道大会から脱会した。参加校の増加により、運営に支障が出て、大会毎の欠席校が増えたこと。設立当初の趣旨が守られないことが理由。当剣友会幹事会は、参加校を絞り、近隣の大学による新リーグを結成することを条件に、東都からの脱会は止む無しとの承諾を学生に伝えました。新リーグは、試合のみならず稽古会を定期的に開催し、参加校の技量の向上と親睦を目指します。剣友会諸先輩のご支援、ご指導をお願い致します。

# 年代幹事会開かれる

五月二十八日(金)午後7時より剣友会連絡事務所の会議室に於いて年代幹事会が開かれました。出席者一八名。水木副会長の司会で来年度の創部四十周年記念のイベントについて、話し合われ、次の事が決まりました。

日時 平成十二年十月八日(日)  
会場 武蔵大学構内  
イベント 関根杯、伊能杯、稽古会、祝賀パーティー、想出の写真集等々

スタッフ チーフ 水木征二  
日暮道生、眞谷繁美、大塚邦夫、田中伸和、名取久由、三木真人、矢倉美喜代、武田美代子、国岡あかね、光藤真人  
山中悠子(学生)

会計 大竹茂雄  
連絡 松井邦夫  
又、会議の中、次の意見が述べられました。

- ・地方在住の会員が参加しやすい方法を配偶者や子供も参加してもらえらるイベントを。
- ・40年の年代差を感じさせない配慮をして下さい。
- ・「想出の写真集」は、祝賀会より早めに製作し、全員に配布して欲しい。

## 「秋の合宿」参加募集

本年も、左記の様に秋の合宿を実施致します。お稽古抜き、ご家族で「岸壁の釣り」を楽しむコースもお勧めです。

期日 十一月二十日(土)、二十一日(日)  
場所 千葉県安房郡千倉町「矢原荘」  
会費 一万五千元(交通費・昼食代別)  
お申込は連絡係 松井(S45卒)迄。

# 流れた決闘が残したものの

我が昭和四五年卒の同期は、七名。卒業したときは九名知れずでしたが、一名は逝去し、一名は行方知れずとなりました。最近三浦、鈴木、鈴木の名が地方赴任から東京へ戻って来たとの連絡がありました。鈴木晃兄の場合は、退職割増金に釣られて希望退職に答えたのだと云うことでした。久々の事なので首都圏在住の渡辺、稲垣、も誘いお馴染み四谷「武蔵乃」で七月二日六時より一席設けることとなりました。

お時間の有りそうな四三年卒の水木征二先輩と犬の散歩以外全部空き時間の四七年卒の大塚兄にも声をかけました。卒業以来三十年ぶりに顔を合わせる組みもあり、一時間も経たない内に異常な盛り上がりを見せて来ました。話は、自然と往時のことに及び、「剣道部に在籍していたもの、あまり稽古は好きでなかった」とか「稲垣さんは優しかったが三浦さんはとても厳しかった」と大塚兄。ウーロンハイでハイになった三浦兄答えて云うに「大塚兄のような軟剣は、剣道とは、言わんのか。俺のような正當な剣道に勝てる訳がない。」とかなり挑発的なご発言に及びました。「いや、今なら三浦さんに勝てるかも知れない。」と云いつつ大塚兄は、割り箸を握って振り回し始めたのです。「お前に何ぞ負けるものか」「いや、ひよとしたら勝てるかも。メーン」と水掛論となったのです。「こんな飲み屋で割り箸振り回して、ゴチャゴチャやうとつても埒あかんネ。十日午前十一時、大学練心館で決着付けたらどうだ。」と更に挑発したのが私、松井です。「そりゃ面白い。俺が

立ち会い人になったるぞ」と水木先輩が受けて立ちます。「俺も是非見てみたい」と鈴木兄。「お前が行くなら俺も行く」と稲垣兄。「大丈夫かオイ」と二ヤニヤ顔の渡辺七段。

さて七月十日日長谷川会長初め、松森師範や剣友会暑中稽古会の面々もこの話を聞き楽しみに待ち受けておりました。先ず最初に見学者の鈴木晃兄がやって来ました。続いて立会人の水木先輩、遅れそうだとタクシーを飛ばして駆けつけます。が、決闘の当人達は、いつまで経っても現れません。恐らくアルコールと共にその記憶も蒸発してしまったのでしょうか。情けないの一言です。

一方、見学者の鈴木晃兄は「見るだけ」としきりに辞退をするのですが、周囲から「稽古着付けて、素振りだけでも」と勧められ、結局面まで付けて、切り返しが二九年ぶりに復習する次第となりました。翌週の稽古会には、筋肉痛でお休みしました。七月二四日の稽古会には、新しい竹刀、胴着と袴を買って、颯爽と道場に現れました。松森師範直々のご指導ですり足の稽古をたっぷり。足裏の豆が潰れてしまいました。汗をいっぱい飛ばした後の生ビールは、足裏の痛みを吹飛ばし「稽古を続けよう」と、決心させるに充分でした。

決闘を忘れた兩人に「恥を知れ!」と云いたいところですが、鈴木兄の稽古再開のきっかけを作った功と相殺と致しましょう。

昭和五年卒松井邦夫記  
富士銀行六本木支店 普通預金  
武蔵大学剣友会代表 大竹茂雄  
一三二一七四九

# 創部四十周年

武蔵大学剣道部は、平成十二年に創部四十周年を迎えます。剣友会ならびに剣道部では、プロジェクトチームを作りいろいろのイベントを計画中です。

メインイベントは平成十二年十月八日(日)に大学キャンパスで行います。まず、最初に関根杯、伊能杯を、続いて稽古会を予定しています。最後に四十周年祝賀パーティーを学食で開く事にしてあります。こんなご時世ですのでもできるだけ質素にと考えております。何よりのごちそうは友の顔であり、同じ釜の飯を食べた仲間

の笑顔と想って下さい。又、皆様の隠れた一面をご家族に知っていたら、くよい機会です。ご家族ご同伴で奮ってご参加下さい。一年先の事ですが、光陰矢のごとしです。あらかじめ来年の最優先行事として組み入れて下さい。

次にメインイベントに先立つ四十周年記念誌の発行に取り組んでおります。四十年間のそれぞれの合宿の思い出を写真で綴って皆様にお届けすべく、ただいま各年代幹事の方々に写真および原稿を依頼しているところとす。皆様からの原稿も大歓迎です。ご希望の方は十一月末日までに写真を添えて事務局までご送付下さい。

(原稿は一応600字から800字をめどとして下さい。)

記念行事を成功させるのはあなたです。記念誌に、メインイベントに奮ってご参加いただきますようお願い致します。

◆武蔵大学剣友会「秋の合宿」のお知らせ◆

武蔵大学剣友会

第6回の「秋の合宿」のお知らせをお届けします。今回は、すっかりお馴染みになりました警視庁の西川、竹内、松森の3先生に加え、神奈川県警の吉続先生にも指導を戴き、実り多き合宿にしたいと存じます。下記のように実施致しますので、お誘いあわせの上、ご参加頂きますようお願い申し上げます。

記

日時 平成11年11月20日(土)～21日(日)

場所 宿泊 「矢原荘」千葉県安房郡千倉町瀬戸3291

TEL 0470-44-1761

道場 「千葉県立安房農業高校」剣道場

千葉県安房郡和田町海発1604

TEL 0470-47-2551 菅田雅人先生(61卒 旧永瀬)

日程 20日 14:00 集合(矢原荘)

15:00 稽古開始(高校剣道場)

16:30 稽古終了

18:00 懇親会・夕食

21日 8:00 朝食

9:30 稽古開始

10:30 稽古終了

12:30 昼食

14:00 解散

会費 円. 15,000程度(交通費・昼食代は含みません)

申込・問合せ 東京都新宿区三栄町7-3「有限会社 悠楽社 松井」

TEL 03-3353-5805 FAX 03-3358-0089

☆お申込は11月12日迄に上記宛、ご連絡下さい。

☆FAXご利用の方は裏面をご利用ください。

○を付けてください。

《参加日程》

	20日		21日
	稽古参加		稽古参加
	懇親会参加		
	宿泊希望		
	20日、21日 全日程参加		

《利用交通機関》

①電車 時 分 千倉着

②自家用車

《同伴参加者》

お名前	ご住所	ご関係
①	_____	_____
②	_____	_____
③	_____	_____

ご住所

卒業年次

お名前

TEL

武蔵大学剣友会連絡係

FAX 03-3358-0089